

# 古河歴史見聞録

## 発掘調査から見た縄文時代の祈りや祭りの姿とは 市内出土の土偶と土製仮面の紹介

市内では、現在約400カ所もの遺跡が確認されています。その中には、開発などに先駆けて発掘調査が行われたものもあります。今回は、遺跡から出土した土器などの遺物の中から、縄文時代の祈りや祭りに関連した遺物を紹介します。

### 思案橋遺跡の土偶

思案橋遺跡は、向堀川に架かる国道354号の思案橋の北東側と陸上自衛隊古河駐屯地との間にあります。

この遺跡は、大正時代ごろから土器片などが多く採集できる場所として知られていました。そのため、土地区画整理事業に伴い発掘調査が行われ、住居跡5棟などが見つかり、縄文時代後期前葉から



▲思案橋遺跡出土のミズク形土偶

晩期中葉にかけての集落跡と判明しました。住居跡や包含層(土器などを多く含んだ土)などからは、大量の土器の破片や、祭りに使われたとみられる土偶や石製品が出土しています。

土偶とは、土で作られた人形で、人為的に壊されてしまい、ばらばらの状態で見つかることが多いことから、けがや病気の快復を願い身代わりとして使われていたとみられています。この遺跡の調査で見つかった土偶も、破損して一部のみ出土したものが大部分を占めていました。中でも、第3号住居跡から発見されたミズク形土偶は、左脚部などが欠損していましたが、全体の姿が分かる資料として価値の高いものです。

### 釈迦才仏遺跡の土面

釈迦才仏遺跡は、国道354号の釈迦北交差点の東側にあります。この遺跡は、平成7年度に県道新設工事に伴い発掘調査が行われ、縄文時代の住居跡32棟などが確認されました。出土した土器の



▲釈迦才仏遺跡出土の土製仮面

特徴から、思案橋遺跡より古い中期後葉から晩期中葉まで断続的に営まれた集落跡であることが判明しました。調査では、土偶や土製仮面などの土製品や勾玉などの石製品も出土しています。

土製仮面の出土例は大変少なく、貴重な事例です。一見、実用的には見えませんが、耳の部分にはひもを通す穴があることから、祭りの時には実際に装着して使用されていたことがうかがえます。

### おわりに

縄文時代は、今から約1万3千〜2千300年前まで、約1万年間続いた非常に長い時代です。そのため、土器の形や文様などを基準に草創期・早期・前期・中期・

後期・晩期の6時期に細分されています。

今回紹介した2点の文化財はいずれも後期ごろに造られたものです。この時期は、縄文文化の円熟期を迎えた一方で、少しずつ気候が寒冷化し、採集や狩猟に依存するなど日常生活に大きな変容が生じてきました。そのため、日常的に使用される土器のほか、縄目や表面に磨きを加えて装飾されたり、色鮮やかに塗られたりした土器が作られました。

また、日常生活に使われた石器などの道具類に加えて、さまざまな種類の土製品や石製品が多く出土しています。これは、祈りや祭りが行われる機会が増え、人々の願いを表したものが作られるようになったためだと考えられています。

これらは、茨城県立歴史館で行われる「Jomon Period・縄文の美と技、成熟する社会」に出品され、展示されます(詳細は、28ページをご覧ください)。  
生涯学習課学芸員 大久保芳紀

### 【一般書/随筆】 旅のつばくろ

沢木耕太郎 著  
思い起こせば、私が初めて1人だけの大旅行をしたのが16歳のときの東北一周旅行だった…。世界を巡ってきた著者が、あの頃のように日本を気ままに歩いて綴った旅エッセイ。

出版社…新潮社

### 【絵本】 ひとはなくもの

みやのすみれ 作  
すみれは、よく泣きます。悲しいとき、痛いとき、こわいとき、くやしいときに泣きます。お母さんは、泣く子は嫌いといいます。でも、涙にはいろんな理由があるんだから、泣き虫の私をまるごと好きになって！ と訴えます。

出版社…こぐま社

## 図書館の本棚から

### 【一般書/小説】 銀花の蔵

遠田潤子 著  
血なんてつながってなくても、こんなに「家族」だ。大阪万博に沸く日本。座敷童が出るという言い伝えの残る、歴史ある醤油蔵で育った少女・銀花は、家族を襲う数々の苦難と一族の秘められた過去に対峙しながら大人になる。

出版社…新潮社



### 【児童書】 ぼくと母さんのキャラバン

柏葉幸子 著  
母さんがいなくなった夜、目の前に現れたのは母さんより大きなネズミ！ トモは異世界のネズミやクマに言われ、ラクダのキャラバンを引いて「あるもの」を山の展望台まで運ぶことに…。

出版社…講談社



古河図書館

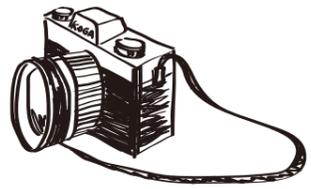
## 1945 昭和20年



提供：古河第一小学校

古河第一小学校の前身である古河女子国民学校の運動会の様子。全国的にも珍しい女子だけの小学校でした。その後、校舎は2回建て替えられ、今も昔も変わらず子どもたちの元気な声が響きます。  
【募集】このコーナーに掲載する昔の総和地区の写真を探しています。お持ちの人は☎シティプロモーション課(Tel.92-3111)までご連絡ください。

## 古河 今昔物語 Time Travel Photograph



## 2020 令和2年

